

パウダーレスインキ「キレイナ」の実力 (広告)

19. よりパウダーレスに〔プロセス印刷〕

「キレイナの実力」では一通りの地域を回ってきたが、東北エリアは初取材となる。今回取材した福島駅から車で5分ほどのところにある(株)プロセス印刷(菅野英二社長、社員33人、1947年創立)は、プリプレスからポストプレスまで一貫生産している商業印刷会社である。オフセット枚葉機は菊四裁判1色機から菊全判4色機まで、5台稼働し、すべて油性印刷である。

もともとパウダー少量

同社は、従来からスプレーパウダーの散布量は少なかったようだ。もともと印刷現場では、湿し水を絞って印刷することが当然となっており、過乳化を抑え、インキが薄膜で濃度が管理でき、結果として乾燥が促進され、インキのグロスが上がり、パウダー散布量を減らすことができるという意識があった。

プロセス印刷はもともとパウダーが少ないので、弊誌が取材に伺ったさいも工場内が真っ白ということもなく、印刷機の排紙部もきれいであった。したがって、印刷現場の感覚としては、キレイナ

採用による工場の見た目の「ビフォー アンド アフター」はそれほど変わってはいないという。

これ以上取材を続けてもキレイナのメリットが出てこないのでは、と脳裏を過ぎった。

使ってみて「あれっ!?!」

しかし、パウダー散布量が少ないとは言え日常的に使用しており、パウダーに起因するボタ落ちなどのクレームやトラブルはゼロではなかった。印刷現場の努力では限界を感じていたころ、パウダーをなくせるものなら、減らせるものならと、2015年夏ごろからキレイナを使い始めてみた。

最初は「あれっ!?! って感じました」と話すのは、印刷課の清野和央課長。第一印象としては、キレイナで印刷した直後の印刷物のサラッと感や、従来よりさらにパウダー散布量を減らしたにもかかわらず裏付きしていなく、インキの効果を目の当たりにして驚いたようだ。

しかし、良い感触は得たのだが、「使っていこうという判断にはまだ至りませんでした」と工務課の丹治正利課長は話す。その点は、これまで本



キレイナを使っている4色機の排紙部。普通に見た目では白くない



丹治正利課長(左)と清野和央課長

連載で紹介してきたようにメーカーが改良に改良を重ね、「今では納得できる品質になっています」(清野氏)とのことだ。

現在のパウダー量は、従来の4分の1程度になった。コート紙ならさらに少ない傾向になっている。もともと少ない量から減らしているの、工場内や排紙部はまったく白くなっていない。また、スプレーパウダーにより発生していたトラブルについても、改善できたという。

現在は、コート紙中心にキレイナを使っている。マット紙や上質紙の仕事は、パウダー散布量が従来と変わらないことから従来のインキを使うのだが、その日の印刷機の仕事の割り振りで、コート紙とコート紙の仕事の間にマット紙が入るような場合は、コート紙よりは多めにパウダーを散布して、キレイナで印刷する。

清野課長は「コート紙ならゼロにしてもいいかもしれない」とは言うものの、万が一の保険として、ゼロにはしていない。また、プロセス印刷では「絵柄の重たさでキレイナにするかどうかという判断はしていません」(丹治氏)とのことだ。

刷りやすい

清野課長の感想は「とにかく刷りやすく、扱いやすいインキですね。刷り上がりはザラザラ感がなくなってサラサラという感覚です。」

さらに、セット乾燥が早く棒積み適性も良好なため、仕上り面印刷までの時間や後の工程に回すまでの時間短縮ができています。印刷機や印刷機周りの掃除の回数が週に2回から1回に減った。もともとパウダーを抑えて印刷していたが、明らかに掃除も楽になっているという。

また、同社ではキレイナと従来インキを併用していて、本機色校正が主流ということだが、これまでに色合わせでの不便や色の整合性で問題になったことはないという。もちろんインクジェット校正で済む顧客もあるのだが、音楽関係の仕事も多く、アーティストの印刷などは本機校正になってしまうそうだ。

現場の自由闊達な社風

パウダーレスインキは、最近は各メーカーが出てきて、同社もいくつかテストしたが、一日の長があるためか、キレイナに満足している。

また、パウダーレスインキ専用のブランケットも取り寄せた。「キレイナとの相性がかなり良いです」(清野氏)。

プロセス印刷は、何でも試してみる素養があるようだ。社員30人程度の印刷会社だが、トップダウンで行うのではなく、現場に任せている社風で、それが技術的にも効果が上がっている会社である。(つづく)

革新的なパウダーレスインキ「ベストワンキレイナ」

BEST ONE
KIREINA

2016年度グッドデザイン賞を受賞しました。

GOOD DESIGN AWARD 2016

T&K TOKA

株式会社 T&K TOKA <http://www.tk-toka.co.jp>
TEL 049-258-1611(代表) 埼玉県入間郡三芳町竹間沢283-1 〒354-8577